

# 生理中のデリケートゾーンの肌悩みは、どうして起こるの？

デリケートゾーンの皮膚の構造



デリケートゾーンは、他の部分よりも薄く、繊細な肌質をしています。そのため、乾燥や刺激を受けやすくなり、肌荒れやかゆみなどの肌悩みが生じやすくなります。また、デリケートゾーンには、皮脂腺が少ないため、乾燥しやすい肌質になっています。

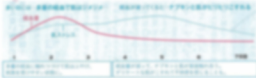
生理中はどうして肌悩み？



## 肌悩み

生理中は、ホルモンの変動によって肌の水分が蒸発しやすくなり、乾燥や刺激を受けやすくなります。また、デリケートゾーンには、皮脂腺が少ないため、乾燥しやすい肌質になっています。

生理期間中のデリケートゾーンの肌質変化



生理期間中は、ホルモンの変動によって肌の水分が蒸発しやすくなり、乾燥や刺激を受けやすくなります。また、デリケートゾーンには、皮脂腺が少ないため、乾燥しやすい肌質になっています。

**A** デリケートゾーンは肌の薄さが違う。だから経血や汗によるムレに、とっても敏感なんです。

「デリケートゾーンの皮膚の角質層は、まぶたよりも薄く、刺激にとても弱いエリアです。ですから、体の他の部分よりもやさしく扱わなくてはなりません」とは、衣類デザイナーの片桐美穂氏。女性ホルモンが落ちると、皮膚は好調な時期にもかわらず、トラブルが起きやすいのは、経血や汗によって、異常にムレやすくなる一因だ。

「すっくと通ったまぶたと違って、デリケートゾーンは、さらさらとした状態が続くことでも、そうなんです。やすすくなります。そうすると、ただでさえ繊細な皮膚なので、ナプキンがくれた方、汗や衣類による刺激が、デリケートゾーンに届きやすくなります。その結果、肌荒れやかゆみなどの肌悩みが生じやすくなります。また、デリケートゾーンには、皮脂腺が少ないため、乾燥しやすい肌質になっています。」

## 生理中の肌はデリケート！だから、肌によさしいナプキンを選ぶ人が増えているみたい。

生理中の肌はデリケート！だから、肌によさしいナプキンを選ぶ人が増えているみたい。

生理中は、ホルモンの変動によって肌の水分が蒸発しやすくなり、乾燥や刺激を受けやすくなります。また、デリケートゾーンには、皮脂腺が少ないため、乾燥しやすい肌質になっています。

**FEMINA**

肌によさしいナプキン

さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。

**FEMINA**

肌によさしいナプキン

さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。さらさらとした肌触り、肌を優しく包み込む。